

防犯診断



【笠寺学区】

■世帯数：5,250 世帯

■人 口：12,190 人

■面 積：1.868 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 町民及び学区防犯委員が南警察署の協力の下、家屋の防犯診断を行う。
- ・ 地域のどのようなところに防犯上の問題があるのかを点検し、その改善策を話し合い、解決を図る。笠寺学区内 24 町内を順に行っている。平成 24 年度は松城町一帯を対象とし、約 20 人が参加した。

【住民への PR 方法】

組長を通じて連絡し、周知、参加者の募集を図る。

【アピールポイント】

毎年、対象地域を選び実施。平成 24 年で 15 年ほど継続している。

2 きっかけ、背景

笠寺学区は、南区内でも空き巣狙いや居抜きなどの犯罪発生件数が最も多く、今後の発生を防止するとともに、住民の防犯意識の向上、情報共有のため、防犯診断を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長 計約 20 人

(2) 運営協力

南警察署

4 実施のスケジュール

H24 年 3 月 実施対象地域決定



4 月 南警察署及び対象地域との打合せ



5 月 対象地域への周知



7 月 防犯診断実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 防犯診断を通じて、住民の防犯意識を高めることにつながった。
- ・ 住民間の交流が深まった。

(2) 今後の課題・展望

- ・ 活動の継続と担い手の世代交代が課題。

